

《平成23年9月議会質問および回答要旨》

1. スマートグリッドについて

《回答：地域振興部長》

情報通信技術を活用したスマートグリッドは、次世代の電力網として、再生可能エネルギーが大量に導入された場合の問題の解決に必要な社会インフラであると認識している。

国内においては、まず国が次世代送配電システム制度検討会などを設け研究を行っている。また、横浜や豊田市などの郡市部の4地域や、鹿児島県、沖縄県の離島における実証実験が電力会社などで行われている。

2. 防災対策（防災備蓄拠点）について

《回答：知事》

県では、現在備蓄の拠点として松江市と浜田市に、食料品、毛布、日用品などを直接備蓄して災害に備えている。しかしこの備蓄は、これまでの島根における台風とか水害といった自然災害を想定した備蓄であるため、今回の東日本大震災を受け、今後は広域的な対応を考える必要がある。

また、緊急物資の拠点となり得る萩・石見空港などのについては、今後国の対応を念頭に置きながら検討していく必要があるものと考えている。

3. 職員基本条例、教育基本条例について

《回答：知事》

職員基本条例は、人事院の指針を参考にしながら、一部独自の基準が盛り込まれた内容になっていると言われているが、この問題は、今後まず大阪府議会でどういった議論が行われるのか、またそれに関連して様々なところで議論も行われるわけであり、そういう議論をよく注視していきたいと考えている。

一方教育基本条例は、教育基本法には政治的中立の確保が必要と規定されているが、首長に権限が集中し、教育の政治的中立性を損なうといった意見もあるため、大阪府議会での議論を注視していきたい。

4. がん対策について

《回答：健康福祉部長》

県としては従来から、がん知識の普及、がん検診の受診者の増加、がん予防対策の強化を集中的にPRする取り組みを進めているが、今年9月はがん征圧月間であり、また9月28日はがん対策推進条例が制定された日であることから、この日に松江市内で街頭キャンペーンを行うなど、がんに関する啓発キャンペーンを行い、がん征圧に向けた取り組みの輪を広げ、県民運動として、進めていきたいと考えている。